

霞沢岳はタフな山

(報告) TI

◎期日：2025年8月21日～23日

◎メンバー：TI（ソロ）

霞沢岳の名前を知ったのは田中陽希さんのグレートトラバース2の時だった。山頂までの稜線に憧れ、いつか自分も行ってみたいと思っていた。

昨年、シリウスの20周年会山行が企画されそれと合わせて登山計画を立てたが、台風の為中止となってしまい残念に思っていると、今回リベンジで会山行が行われるという事で徳澤園に集合の前に改めて霞沢岳に挑戦することにした。

計画は初日に徳本峠まで登りテント泊。翌日霞沢岳に登り再び徳本峠でテント泊。3日目は集合地の徳澤園を目指すというものだ。しかしここで問題が発生する。まず新宿から上高地までの夜行バスが満員で予約が取れない。仕方なく1日早く上高地入りをして小梨沢に1泊してから徳本峠を目指す計画を立てるが、直前になって渋谷から上高地までの夜行バスの予約を得ることができた。やれやれと思っていたら今度は徳本峠に熊が出たとのニュースが！慌てて徳本峠小屋に状況を聞くと、その後熊の姿は目撃されていないので大丈夫だろうとの事でひと安心したが、念には念を入れ爆竹を持って行くことにした。

今シーズン2回目の上高地。初日は徳本峠までなのでゆっくり支度をして歩き出す。今年は左岸の道が通行できるので小梨キャンプ場を抜けてまずは明神を目指す。キャンプ場の入口には「熊目撃情報」の看板が。つい2,3日間にも出没しているようだ。1時間ほどで明神に到着。ここから見える明神岳は何度見てもカッコいい。いつものように明神岳に向かって旅の安全をお願いし、「いつかはこちらへ行きたい」と思っていた分岐点から徳本峠を目指す。

最初は広い林道を進んで行くがそれまでの賑やかさはなく、すれ違ったのはわずかに3人だけだった。熊が怖くてしばしばストックや手を叩いて歩いて行くと、橋の架け替え工事が行われていて工事の人出会い少しホッとした。沢を2回渡り山道に入る。急登ではないがずっと登りが続き、ザックの重さが次第に堪えてくる。熊のパトロールで小屋まで行くという環境省の人に「もう一登りだから」と励まされ、ヘロヘロになりながらもほぼ予定通りの時間で徳本峠小屋に到着。



いつかは行ってみたかった



徳本峠に到着

2泊分のテント泊の受付をし、小屋のお母さんから「熊が出ているから、匂いの強い食材は避けてね」と言われる。テントはすでに2張り張られており私は入口近くの一段下がった所に陣取ることにした。昼食後は中村新道（徳本峠から大滝山荘を超えて蝶ヶ岳への道）の入口付近まで歩いてみたり、テントの横の花や蝶たちの写真を撮ったりしてまつたりと時間が過ぎていった。この日のテント泊は最終的には5張りで、自分と同じテント（オニドーム2）がもう1張りありちょっと感動。夕方、峠から見える穂高の山々を小屋泊の人も含めみんなで見て、明日の霞沢岳への思いをそれぞれに語り合った。明日は早朝からの行動となるため、準備を整え20時頃には眠りについた。

翌日、早い人は4時前に出発したと同じテントの男性に聞く。時間はまだ4時なのでまだ薄暗い。私は暗い中を歩くのは嫌なので5時近くまで待ってテント場を出発する。まずはジャンクションピークまでバテないように歩いて行く。登りはキツかったがだいたい予定通りの時間で着く事ができた。でもまだ先は長いぞ。

ジャンクションピークからはせっかく登って来たのに結構下る。道は刈り払いがされていて歩きやすいが、帰りはまたここを登り返すのかと思うと少々気が重くなりながら樹林帯の中を進んで行った。やがて池塘が現れここを過ぎるとK1ピークへの急登が始まった。

アップダウンを繰り返し眺望が開け六百山や穂高連峰が見えると心も弾んだが、写真を撮る余裕はなく途中で引き返そうかと秘かに思ってしまったことも事実だ（笑）先行していた人に励まされ何とかK1ピークに着く事ができた。

360度の眺望に満足していると同じ頃に登り始めた小屋泊の人がやって来たのでお互いに記念写真を撮り合い、山頂の手前に見えるK2ピークに「まだまだ大変そうですね」と話していると先にテント場を出発し途中で追い越した男性もやって来た。3人でしばらく休憩し「山頂で会いましょうね」声を交わしました歩き始めた。K1ピークからはまたガツツリ下り、また登ってK2ピークへ。ここから見えるのは霞沢岳の山頂のみ。「あと少し！」



まずはジャンクションピークに



急登再開



360度眺望のK1ピークからK2ピーク、霞沢岳山頂が見える



K2ピークからの霞沢岳山頂

K2ピークからは稜線歩きで満開は過ぎてしまったけれどハクサンフウロやイワツメグサ、トウヤクリンドウなどの高山植物を楽しみながら稜線を歩いて行き、最後は少し回り込むかたちで山頂に到着！



憧れの霞沢岳山頂に到着



出会った花たち

眺望はK1ピークの方が良かったが、歩いてきた道ははっきりわかった。長くて大変だったけど来て良かった。でもテント場から約5時間はちょっと時間がかかり過ぎたかな。山頂でコーヒーを飲むのは諦めて下山しようかなと思ったところに同じテントの男性が到着したのでやっぱり夢だった山頂でのコーヒータイムをすることに。のんびりコーヒーを飲み、「テント場に戻ったら登頂記念にビールで乾杯しましょうね」と言葉を交わし先に下山の途に。

下山は少し余裕ができたので高山植物をカメラに収めながら歩いた。それでもK1、K2ピークのアップダウン、そしてジャンクションピークまでの長い登りに苦しみながら約10時間の行動時間で予定通りの15時頃にテント場に戻ってくることができたことは、私にとっては上出来だ。

翌日、霞沢岳に登るシリウスメンバーのFJさんが徳本峠にやって来たのは約1時間後の16時近くだった。その前にやはり霞沢岳に明日登る2人の男性が到着したのだが、ナントこれまたテントが同じオニドーム2！別に珍しいテントではないが、4張り中3張りがオニドーム2とは。これは笑うしかない。

夕飯はこの2人の男性達のヤマ飯にFJさんとごちそうになり山の話で盛り上がったが、今日一緒に霞沢岳を目指した同じテントの男性がなかなか戻って来ない。心配していると暗くなりかけた頃その姿を確認することができ皆で胸をなでおろした。



圧巻！オニドーム2が3張り



イタリアン料理をごちそうになりました

聞くところによると下山時に疲労の為道迷いしてしまい、逆方向に歩いてしまったそうだ。途中で山頂から下山してきた人に言われ気づいたそうだが、実は私も途中で足を滑らせあわや滑落の危機があった。人の少ない山では一つ間違えば遭難となってしまうので本当に気をつけないといけない。この夜は念願の霞沢岳に登ることができた興奮からか、それとも最後に飲んだ食後のコーヒーがいけなかったのかなかなか眠りに着くことができず、時折テントの外でガサゴソする物音にビビッてしまった。

3日目の朝は目覚めるとすでにFJさんと同じテントの2人組は出発しており、のんびりしているともう一人の同じテントの男性もテントをたたみもう下山するとの事。一人取り残されてしまった私は急いで朝食をとり、露でビショビショのフライを適当に詰め込んで下山開始。下山はサクサク歩きあつという間に分岐点に着くことができたが、この日も途中で会ったのは徳本峠までハイキングに行くご夫婦だけだった。

分岐点から徳澤園までは1時間ほど。さあ、シリウスメンバーが待っている。みんなに会えるのが楽しみだ！

【コースタイム】

1日目：上高地バスターミナル 6:45→明神 7:40～7:55→徳本峠小屋 10:50

2日目：徳本峠小屋 4:55→ジャンクションピーク 6:50～6:00

→K1ピーク 8:25～9:20→霞沢岳 10:00～10:55

→K1ピーク 11:30～11:50→ジャンクションピーク 14:10～14:15→

徳本峠小屋 15:05

3日目：徳本峠小屋 7:50→徳澤園 10:05